



えひめ



Contents

- 現場だより・松山港外港地区のエプロン舗装工事に着手
・松山空港地下道の耐震補強工事に着手
- 松山工業高校3年生が『みなと』を見学
- 松山空港空の日フェスタに参加しました
- みんなの生活展に出展しました
- 平成27年 秋の緑綬褒状伝達式
- まつやま里島ツーリズム連絡協議会が
海ネットイベントプランコンテスト最優秀賞

クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が松山港へ入港
2015.12.14 撮影



(上)クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が今治港へ入港
(下)クルーズ船「カレドニアンズスカイ」が宇和島港へ入港

2015.10.18 撮影
2015.10.18 撮影



クルーズ船「にっぽん丸」が松山港へ入港 2015.11.1 撮影

■ 松山港外港地区のエプロン舗装工事に着手

現場だより

松山港背後圏における企業の産業活動を支えるため、松山港外港地区において、水深13mの岸壁を有する国際物流ターミナルを整備中です。これにより、他港からの二次輸送を強いられている石炭輸送の効率化や、取扱貨物量の増加に伴い手狭となっている背後ヤードの荷役の効率化を図ることを目的としています。

来年度春の岸壁供用開始に向けて、本工事では、岸壁背後で荷役及び荷捌きを行うために必要なエプロン部の最終区画のコンクリート舗装、及びガントリークレーンの土台となるクレーン基礎などの施工に着手しました。



クレーン基礎用コンクリート打設状況



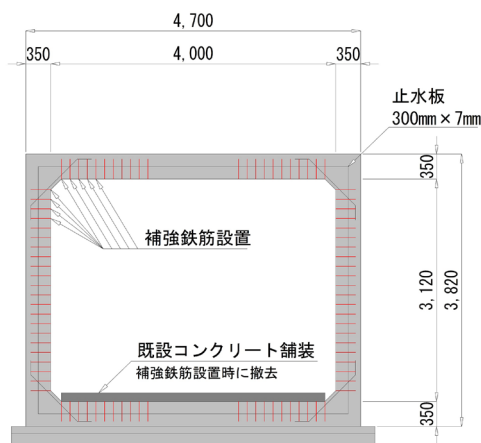
クレーン基礎用コンクリート締固め状況

■ 松山空港地下道の耐震補強工事に着手

航空輸送上重要な空港等については、地震被災時において、緊急物資等輸送拠点としての機能確保、航空ネットワークの維持や背後圏経済活動の継続性確保を図るため、基本施設等の耐震化が進められています。

松山空港は、緊急輸送の拠点となる空港として位置付けられていますが、大規模地震による影響で、滑走路及び誘導路の直下に存在する地下道(松山市道生石169号線)の浮き上がり、陥没等により滑走路及び誘導路が使用不能になる可能性があることから、耐震対策を実施しています。

昨年度に実施した薬液注入工による地下道周辺地盤の液状化対策に加え、今年度から地下道本体の耐力を向上させるためのせん断補強工として、地下道の周囲の壁面等に削孔を行い、鉄筋を埋め込む工事に着手しました。



断面図(イメージ図)



施工イメージ



壁面削孔状況

松山工業高校3年生が『みなと』を見学

10月30日(金)、松山空港、松山港国際物流ターミナルにおいて、松山工業高校土木科の3年生を対象とした現場見学会を開催しました。

松山工業高校の見学会開催については、平成22年度に実施して以来5年ぶりの開催となります。今回の趣旨は、3年生においてグループごとに検討テーマを設定し課題に取り組む中で、『みなと』に関して実際の現場について見学、学習させたいと依頼を受け、地元松山の海と空の物流拠点となる『みなと』の役割と施設の構造などを実際に現場で感じてもらい、優秀な技術者の育成を支援することを目的に実施しました。

この見学会で学んだことを高校の課題研究に活かしながら、将来の土木技術者としての活躍に期待したいと思います。



事業概要説明状況



松山空港の見学状況



松山港の見学状況





9月26日(土)、松山空港では「空の日」(9月20日)の関連行事として「松山空港 空の日フェスタ」が開催され、当事務所も事業内容の紹介、松山空港の模型展示、風洞実験の実演を行いました。

特に、飛行機が浮かび上がる仕組みが分かる風洞実験装置や松山空港の模型は、お子さんを中心に沢山の方に興味を持っていただけました。また、パネルや模型を用いて当事務所が実施している空港整備事業を紹介し、空港利用者や地元の皆様に当事務所の事業をご理解いただく良い機会となりました。

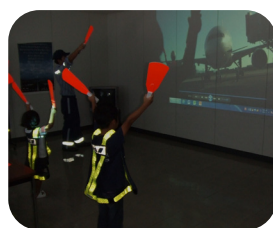


松山空港の模型と風洞実験装置

当事務所のブースの他にも、恒例となった「ポンジュース蛇口」や「チビッコ写真撮影会」、屋外でも「空港内バスツアー」や「空港で働く車の展示」などがあり、親子連れを中心に多くの人で賑わいました。



当事務所のブースの様子



屋内外に様々なコーナーが設けられました

みんなの生活展に出展しました



大街道商店街



ゆるキャラも集合

10月17日(土)、18日(日)の両日、松山市の大街道商店街にて「みんなの生活展 2015」が開催されました。

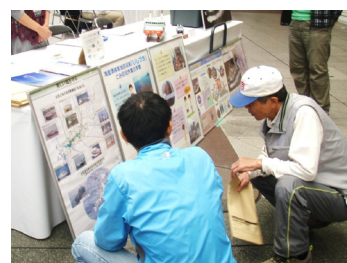
「みんなの生活展」は松山市とみんなの生活展連絡協議会が主催し、消費生活や環境・健康に関する活動を行っている市民・事業者・行政機関がブースを出展して活動の紹介や各種の相談等を行う毎年恒例のイベントです。

当事務所は、環境プラザに出展し、県内の海上で海面清掃や油回収作業を行っている当事務所所属の船舶「いしづち」の模型展示と、パネルを使った海洋環境整備事業の紹介を行いました。ブースを訪れた方からは、海から多くのゴミが回収されていることへの驚きの声や、海洋環境整備事業について初めて知った、「いしづち」の実物を見てみたい、といったご意見もありました。

また、来場者が各展示ブースを回りながらクイズに答えしていくスタンプラリーもあり、当事務所のブースでも海洋環境整備事業に関するクイズを出題し、多くの方に挑戦していただきました。



子どもたちも来てくれました



パネルの内容を説明



当事務所のブースの様子



模型を使用して説明



「いしづち」クイズ

平成 27 年 秋の緑綬褒状伝達式



伝達式の様子

12月1日(火)、伊予市下吾川・北新川集会所において、平成27年秋の緑綬褒状を受章された「新川なぎさ会」(社会奉仕活動功績)の伝達式が執り行われました。「新川なぎさ会」は平成6年より、毎月1回の伊予市新川海岸の清掃に取り組んでおり、その多年にわたる社会奉仕活動が認められての受章となりました。

伝達式は、「新川なぎさ会」の会長である乗松豊一氏を含む約20名の会員が出席のもと、菅沼四国地方整備局次長より緑綬褒状の伝達及び祝辞、その後、武智伊予市長からのご祝辞、最後に、乗松会長から受章のお言葉をいただきました。乗松会長は受章の言葉の中で「これからも会が続く限り、活動を継続したい」と力強く述べられました。

伝達式終了後は、菅沼四国地方整備局次長と伊予市長も交えて車座で懇談会が行われました。懇談会の中で、台風の後にはゴミが大量に漂着することや、海岸の利用者により放置されるゴミが増えて心を痛めていること等の苦労話や、海岸清掃の甲斐があったかー昨年ウミガメが上陸して嬉しかったことなど、終始和やかな雰囲気で行われ、新川なぎさ会の結成以降を振り返っていました。

末筆になりますが、今後の新川なぎさ会のますますのご活躍を祈念します。



記念撮影

まつやま里島ツーリズム連絡協議会が海ネットイベントプランコンテスト最優秀賞

11月12日(木)、香川県東かがわ市で瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成27年度担当者会が開催されました。その中で、平成28年度海ネットイベントプランコンテストが行われ、まつやま里島(りとう)ツーリズム連絡協議会主催(愛媛県、松山市共催)による「さあ、釣りを始めよう!ファミリー釣り大会in中島」が最優秀賞を受賞しました。

このコンテストは、瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上などオリジナリティ溢れる地域活性化イベントを支援するために、瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを海ネット会員から募集し、コンテスト形式により支援イベントを決定するものです。ファミリー釣り大会は、家族を対象にした釣り教室や釣った魚の魚拓サービス、料理教室、実食等、家族で釣りを楽しむことを目的とし、釣りを通じて「うみ」・「しま」を訪れ、瀬戸内の賑わい創出のきっかけとなっていることが評価されたものです。



◀ ファミリー釣り大会の様子

この他、まつやま里島ツーリズム連絡協議会では、里島をめぐる様々なイベントが行われています。里島を訪れることで、瀬戸内の魅力を発見できるのではないのでしょうか。



< 事務所のご案内 >



■松山港湾・空港整備事務所
〒791-8058 松山市海岸通2426-1
【TEL】089-951-0161(代表)
【FAX】089-946-8010



■東予港出張所
〒799-1353 西条市三津屋南2-15
【TEL】0898-64-3650(代表)
【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.28 編集・発行



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail(企画調整課)】pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp
【URL】http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html
【海とみなとの相談窓口】0120-497-370(全国共通フリーダイヤル)
受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00(土・日・祝祭日・年末年始を除く)